

研究室 からの メッセージ

134

左から 齋藤, 奥谷, 杉本

Data(2016年1月現在)

所在地: 〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮

スタッフ: : 奥谷文乃(教授), 齋藤美和(講師), 杉本加代(講師)

URL <http://www.kochi-u.ac.jp>



高知大学医学部看護学科 地域看護学講座地域看護学領域

History and Now

どのような機関なのでしょう？

本学は1998(平成10)年4月に高知医科大学医学部看護学科として開設され、2003(平成15)年10月に高知大学との統合により現在の高知大学医学部看護学科となりました。基礎看護学講座、臨床看護学講座、地域看護学講座の3講座があり、地域看護学講座は地域看護学、在宅看護学、高齢者看護学の3領域からなっています。2002(平成14)年には、看護学専攻の修士課程が設置され、現在は、総合人間自然科学研究科看護学専攻となり、実践助産学課程も設置されています。

Education

どのような教育をしていますか？

高知県は少子高齢化による人口減少、南海トラフ巨大地震に対する災害対策と、近未来のわが国が抱える課題解決の先進県であり、在宅医療の推進も急務となっています。学生は3年生から保健師コースを選択し、4年生で公衆衛生看護学の実習に学外へ出ます。ときに泊まり込んで人や自然が溶け合い生活する地域に入り込むことにより有意義な体験をし、保健師志望の強い意欲をもつようになります。

ひとこと

高知県は気候も人の心もあたたかいところです。魚のみならず野菜もとてもおいしく、観光地アンケートでも「料理のおいしいところ」のトップに位置します。高知県の特性を生かして、いち早く近未来の日本の課題解決に取り組むことにより、保健師活動推進の道筋をつけていきたいと考えています。

……奥谷

大学院では保健師が学ぶ場として新たに地域保健看護学分野の設立準備をしています。

Research

どのような研究をしていますか？

研究に関しては、職域におけるメンタルヘルス、地域連携自治体との協働による過疎高齢化地域における健康づくり支援活動、僻地における看護活動支援、地域在宅高齢者の生きがいに関する研究を行っています。いずれも公衆衛生の観点に立ったものであり、これらの研究を通して学生に公衆衛生の考え方の重要性を強調しています。

Collaboration

保健活動の現場とのつながりは？

産業保健総合支援センターの活動、高知県が主となって行っている保健師人材育成に関わる検討会や研修、市町村における地域の課題解決に協力しています。いずれも学生が実習でお世話になる機関・施設であり、ともに地域の公衆衛生活動推進に貢献しています。さらに、現場にある課題を一緒に考える場として大学をもっと活用していただきたいと考えています。

あなたの研究室を紹介してください! 保健師ジャーナルでは、このページに登場してくださる研究室(保健師教育に関わる講座・分野・領域)を募集中です。研究室での保健師教育の特色や、研究活動、現場とのつながりをご紹介します。

応募方法 ●電話, FAX, E-mail のいずれかにて編集室までご連絡ください。掲載分には医学書院特製図書カードを進呈いたします。

連絡先 ●医学書院『保健師ジャーナル』編集室 ☎ 03-3817-5774 ☎ 03-5804-0485 ✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp